



発行：NPO法人 日本アトピー協会 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階 電話:06-6204-0002 FAX:06-6204-0052
Eメール：jadpa@wing.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.nihonatopy.join-us.jp/

CONTENTS

- 2024年10月開始!!「保湿剤 ヒルドイド」はどうなる? …P1~P5
 - ◆ 発端は「美容目的?」その経緯は …………… P1
 - ◆ 学会やメーカーからの注意喚起 …………… P2
 - ◆ 長期取載品の処方等又は調剤について …………… P4
 - ◆ 対象は1095品目「ヒルドイド」はどうなる? …………… P5
 - ◆ 法人賛助会員様ご紹介 第81回 …………… P3
 - ◆ 加熱全卵粉末「たまこな」ってご存じですか? …………… P6
 - ◆ 『これ知ってる!食物アレルギー対応食品』vol-6 …………… P6
 - ◆ アトピー性皮膚炎 新たな外用薬とジェネリック保湿剤 …… P7
 - ◆ ATOPICS …………… P8
- 第40回日本小児臨床アレルギー学会学術大会敷設展示会出展ご報告
さらなる新薬「ブイタマー®クリーム1%」承認!!
ブックレビュー

2024年10月開始!!
「保湿剤 ヒルドイド」はどうなる?

「長期取載品の処方等又は調剤について」と題した通達が今年の3月に厚生労働省より発表され、10月より施行されることとなりました。7月にも取り扱いについての「疑義解釈資料の送付について(その1)」「選定療養における費用の計算方法について」などが通達されています。非常に難解な内容になっており、正しく理解できているのか不安ですが、該当する保湿剤や外用薬について調べてみました。

発端は「美容目的?」その経緯は。

「究極の美容クリーム!!」「最強の保湿剤!!」などなど、今から約10年前の2014年頃から、SNSなどで有名モデルやタレントから拡散し、「ヒルドイド」をはじめとする「ヘパリン類似物質製剤※」を美容目的の方々が注目したことが発端とされています。

※ヘパリン類似物質製剤

肝臓で作られる「ヘパリン」という物質に似た構造を持つ。ヘパリンは血液を固まりにくくする「抗凝固作用」がある。ヘパリン類似物質は、水に溶けやすい・混ざりやすいといった「親水性」があり水分子を引き寄せ保持する「保水性」がある。

これを受けて健康保険組合連合会(健保連)は、2017年10月6日に「政策立案に資するレセプト分析に関する調査研究3」を公表し、ヒルドイドなどの保湿剤に関して、「化粧品代わりに処方してもらうことが流行している可能性が高い」などとして、「皮膚乾燥症で、他の外用薬または抗ヒスタミン薬と同時処方されていない場合には保険適用から除外する」ことなどを提言し、さらに中長期的には、海外の保

険取載の状況や一般用医薬品の流通状況等を踏まえ、保湿剤の処方そのものを保険適用外とすることも検討すべきである」としました。これに対し、日本医師会常任理事の松本吉郎氏(皮膚科医師)は、「皮膚乾燥症であっても悪化防止のためにヒルドイドを使用することはあり得る」とし、「学会やメーカーから注意喚起がなされており、しばらく様子を見るべきだ」と主張しました。

さらに、「効能効果に準拠して適正使用をすること」が前提のうえで、「皮膚のバリア機能が障害され生じる皮膚の疾患。その悪化により、患者のQOLは阻害されるとともに、その治療に伴う医療費の増加につながってくる。ステロイド外用薬を使用する前段階として、保湿剤を使うことは治療としてあり得る」と説明。さらに、「全身のアトピー性皮膚炎など、大量の保湿剤が必要になる患者もいることから、このような方に不利益が生じないようにしてもらいたい」と求められました。健保連は、「一定の必要性があることはわかるが、2015年から2016年に使用量が急激に増加しているのは、別の根拠がないと説明がつかない」と譲らなかったが、松本吉郎医師は、「女性の方が男性よりも保湿などに敏感に対応している」などとし、「背景についてはさらに調査をしてもらいたい」と厚生省に求めました。

また、健保連は、メディアやSNSなどでの動向をもとに、「美容に関心の高い女性の間で、皮膚科等に受診し、『乾燥肌(皮脂欠乏症)』等の訴えにより『ヒルドイド』(各種タイプ、後発品含む)を化粧品代わりに処方してもらうことが流行している可能性が高い」と分析。124健保組合における2014年10月から2016年9月の2年間で、保湿剤が1種類以上外来で処方されたレセプトデータを分析しました。

その結果、処方回の8割強において、ヘパリン類似物質「ヒルドイド」等が処方され、処方額は2年間で約147億円でした。全国の薬剤費は年間1,230億円程度となると推計されました。保湿剤の処方額全

患者さんからのご相談はいつでもお受けします。

症状がいつに改善されず長びく治療にイライラが募り先行きを悲観…ちょっと待った!全国約600万人(※)の方があなたと同じ悩みをかかえています。ここではみんなで「連帯」し、ささえあいましょう。日本アトピー協会をそのコア=核としてご利用ください。

※H12~14年度厚生労働科学研究によるアトピー性皮膚炎疫学調査より推計。

ご相談は

電話：06-6204-0002 FAX：06-6204-0052
メール：jadpa@wing.ocn.ne.jp(火・木 10:00~16:00)
お手紙は表紙タイトルの住所まで、なおご相談は出来るだけ文面にてお願いします。電話の場合はあらかじめ要点をメモにして手みじかをお願いします。(ご相談は無料です。)

◆協会は法人企業各社のご賛助で運営しております。 ◆患者さんやそのご家族からのご相談は全て無料で行ってあります。

体のうち、約17%は保湿剤の各成分（ヘパリン類似物質、白色ワセリン、ヘパリンナトリウム）のみの処方によるものであったとされています。さらに、「ヘパリン類似物質のみの処方であり、傷病名が皮膚乾燥症のみ」のレシピにおける処方額は2年間で約10億円。全国では年間93億円程度と推計されました。

学会やメーカーからの注意喚起

日本皮膚科学会やヘパリン類似物質製剤を取り扱う製薬メーカーからも注意喚起や適正使用のお知らせなどが発信されました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 日本皮膚科学会より ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■ 2017年10月16日（第一報）

2014年頃からヒルドイド等の医療用ヘパリン類似物質製剤の美容目的の処方が増大しており、そのような状況を問題視した記事が掲載されるなど、最近話題となっています。

会員各位におかれましては、これまでに引続いてヒルドイド等の医療用ヘパリン類似物質製剤の適正処方に努めていただきますようお願いいたします。

また、本件に係る健康保険組合連合会による政策提言「保湿剤処方の適正化」に対しては、現在正式見解を本会理事会において検討中です。

■ 2017年10月31日（第二報）

本会理事会にて討議の結果、健保連からの提言は真摯に受け止めますが、保湿剤による治療を必要とする患者に大きな不利益を生じかねないため、処方制限には反対する旨の要望書を厚生労働大臣、日本医師会長、健康保険組合連合会会長に提出することを理事会で決定いたしました。

会員各位におかれましては、引き続きヒルドイド等の医療用ヘパリン類似物質の適正処方に努めていただきますとともに、やむを得ず適用外での処方を行う場合には必ず自費診療にて対応するなど、これまで以上に公的医療保険制度に則った診療を徹底するようお願いいたします。

■ 2018年2月19日（第三報）

処方制限には反対する旨の要望書を厚生労働大臣、日本医師会長、健康保険組合連合会会長に10月30日付けで提出いたしました。その後、健康保険組合連合会からの「政策提言」を受けて中央社会保険医療協議会にて審議された結果、第389回中央社会保険医療協議会総会（2018年2月7日開催）の答申において、以下のとおり方針が決定されました。

1. 血行促進・皮膚保湿剤（ヘパリンナトリウム・ヘパリン類似物質）の使用について、美容目的などの疾病の治療以外を目的としたものについては、保険給付の対象外である旨を明確化する。
 2. 審査支払機関において適切な対応がなされるよう周知する。
- しかしながら、答申書の付帯意見に「…医療用保湿剤の適正な処方…引き続き検討すること」と記載があることから、上記方針は「現時点では処方実態に関する情報が十分でないため、拙速に何らかの制限をかけるのは適当でない。次期診療報酬改定までの間、処方実態の把握に努め、引き続き処方適正化策について検討する。」ことを前提としており、今後の適正化に向けた取り組みが2年後の次期改定時の審議において検証されることとなります。
- そのため会員各位におかれましては、引き続きヒルドイド等の医療用ヘパリン類似物質の適正処方について努めていただくようお願いいたします。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 製薬メーカーによる「ヒルドイドの適正使用に関するお知らせ」 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

ヘパリン類似物質製剤について、一部の雑誌やインターネット上

に、美容目的での使用を推奨していると受け取られかねない記事の掲載を確認しています。このような記事を確認した場合、その都度、発行元や配信元に対して、あたかも化粧品等と同様のものであるかのように紹介することは控えていただくよう要請してきました。また、併せて、医薬品の適応外の使用を推奨することは、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下、薬機法）に抵触するおそれがある旨も注意喚起しています。製薬メーカーとしては、「薬機法」「医療用医薬品等適正広告基準」等の関係法規を厳守し、一般の方への医療用医薬品の広告をしております。また、出版媒体からの、医療用医薬品の本来の使用目的から外れる趣旨の取材や素材提供等の要請は、すべてお断りしています。今後も、美容目的の使用を推奨していると受け取られかねない記事に対して厳しい姿勢で臨むとともに、医療関係者の皆様や患者さんへの医療用医薬品の適正使用に関する啓発に努めるなど、責任ある企業として対応していきます。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 弊会による「処方制限」反対声明 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

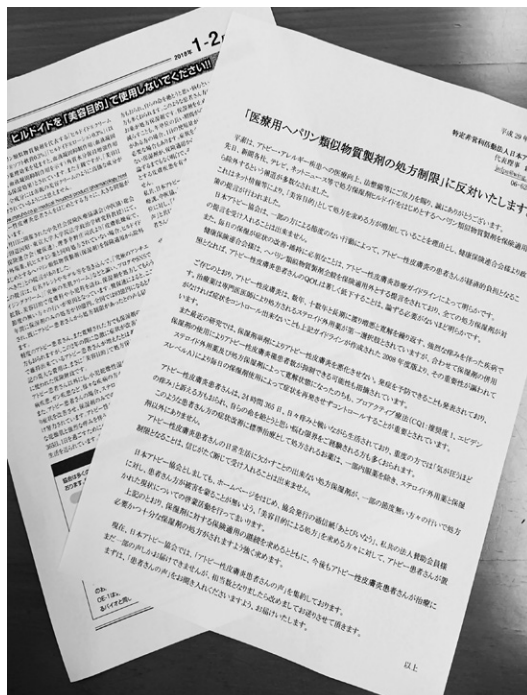
弊会も2017年に、厚生労働省をはじめ関係各位に「医療用ヘパリン類似物質製剤の処方制限に反対します」という声明文を達し、皆様からお寄せ頂いた「患者さんの声」も合わせて送らせていただきました。

尚、弊会HPには、2024年5月現在で654件のお声を頂戴しております。<http://www.nihonatomy.join-us.jp/formmail/voice.html>

（2018年1-2月号「アトピー・アレルギー」一年の計）

また、小紙にて「ヒルドイドを『美容目的』で使用しないでください!!」と強い警鐘文を掲載致しました。

20180110-2_あとびいなう2018-1・2月号 (join-us.jp)



因みに、不正に入手された「ヒルドイド」等の医療用ヘパリン類似物質製剤を医薬品の販売許可を持たない者が、転売等をした場合、医薬品医療機器等法（薬機法）第24条第1項に抵触し「無許可販売」となり、刑事罰（3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金刑又は刑科される（薬機法84条9号）等、重い罪に問われます。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 「美容目的」は保険給付対象外 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

日本医師会、日本皮膚科学会、製薬メーカー様の働きかけ、また、皆様からいただいた「患者さんの声」も少なからず一助になったことと自負しておりますが、2018年1月24日に開催された第386回中央社

会保険医療協議会総会において下記のように発表され、一旦は保険適用からの除外が見送られました。

【薬品、医療機器、検査等の適正な評価 -④】
④ ヘパリンナトリウム、ヘパリン類似物質の
処方に係る要件の見直し

骨子<IV-8(4)④>

第1 基本的な考え方

疾病の改善の目的外で、一度に多量に処方される血行促進・皮膚保湿剤（ヘパリンナトリウム、ヘパリン類似物質）が一定程度あり、適正使用が求められていることを踏まえ、保険給付適正化の観点から、以下のような見直しを行う。

第2 具体的な内容

1. 血行促進・皮膚保湿剤（ヘパリンナトリウム、ヘパリン類似物質）の使用について、美容目的などの疾病の治療以外を目的としたものについては、保険給付の対象外である旨を明確化する。
2. 審査支払機関において適切な対応がなされるよう周知する。

【投薬】 【算定要件】

入院中の患者以外の患者に対して血行促進・皮膚保湿剤（ヘパリンナトリウム、ヘパリン類似物質）を処方された場合で、疾病の治療であることが明らかであり、かつ、医師が当該保湿剤の使用が有効であると判断した場合を除き、これを算定しない。

（第386議事録/2018年1月24日より）

しかし、この発表以後、皆さんにもその余波により処方量の上限が厳しくなり、多くの「患者さんの声」を頂戴することとなっています。

【ヒルドイドの美容問題における認知度と
使用状況に関する調査】

健保連が試算した「傷病名が皮膚乾燥症のみのレセプトにおける処方額」は、確かに保険医療制度の大きな問題となって、我々が支払う毎月の保険料にも影響があるかもしれません。

そして、2018年に開催された協議会で「美容目的は保険給付対象外」とし、医療用ヘパリン類似物質を保険適用から除外することは一旦見送られました。

ちょうど同じく2018年1月25日～2月17日の短い期間ですが、明治薬科大学による上記調査が実施され、第51日本薬剤師会学術大会にてポスター発表されていました。

同調査によると、ファーコス薬局くすのき台に来院した外来患者（新患を除く）で、ヒルドイドを使用している患者のみにアンケート調査を実施。調査総数（n数）が不明ですが、ヒルドイドの美容問題についての認知度は35%と低かった。使用している疾患は乾燥肌が59%と最も

多く、美容目的で使用しているとの回答は認められなかった。また、使用している患者の85%以上が、使用量の目安を知らない、もしくは推奨されている使用回数より少ないという結果となった。

同調査結果の考察では、「今回の調査により、ヒルドイドの美容問題に関する認知度は低く、患者間に認知度の相違が認められることを明らかとした。使用回数や使用量の目安を知らないという患者が多かったが、効果を実感している患者も多いことから、費用対効果の面から深く介入する必要はないと思われる。ヒルドイドを美容目的で使用している患者は認められなかったが、誤用による薬機法の抵触の恐れや健康被害を引き起こす恐れがあることから、今後も美容目的での使用には注意喚起が必要であると考えられる。」とまとめられていました。

【臨床現場でのヒルドイドの処方とは？】

医療従事者向け総合医療情報サイトm3.comが、同サイト会員の医師に「美容目的の処方を求められたことがあるか」というアンケート調査（n=959）では、開業医が40.6%で、勤務医が34.5%「ある」と回答。具体的には、

- ・「1歳児に処方できる最大量を処方してほしい（勤務医）」
- ・「普段はもっと貰っているとわれ500gを希望する疑義照会があった。小さな子どもの何処にそんなに使うのかと思ひ絶句した（勤務医）」
- ・「小児アトピーには必須の薬剤。患者希望も多く、外来で断りづらい（勤務医）」
- ・「他院で多量の処方を受けたことがあると言って同量の処方を求められる（開業医）」
- ・「他院ではいくらでも処方してくれると嘘ぶく（開業医）」
- ・「当県では15歳以下は自治体の補助で自己負担なし。自分の分を子どもの分を出してほしいと言われる（勤務医）」

調査期間2024年4月24～4月29日

回答者数内訳（開業医261人/勤務医698人）

クリニックや病院で、実際に患者さんや保護者の方々からの過ぎた要求にドクターも困惑。断れば他院へとなると、お薬手帳はあるものの治療計画は立ちません。

弊会にお寄せ頂いている「患者さんの声」でも、自治体によって、また総合病院とクリニックによっても、処方量が異なっているようです。

先程のm3.comの回答に、

「処方量に関しては、全国で統一して頂きたい。地域外の患者さんとトラブルになりかねない。また長期休診の時期の度に憂慮している

法人賛助会員様ご紹介 第81回

敬称略

協会は多くの法人賛助会員様の年会費によって会務を行っており、本紙面を通じまして日頃お世話になっております法人様を順次ご紹介しております。関係各位にコメントをお願いしておりますので、ぜひ患者さんへの一言をお願い致します。

シャボン玉石けん株式会社

- ◆ 所在地 〒808-0195 福岡県北九州市若松区南二島2-23-1
- ◆ 電話番号 0120-4800-95(8:30～17:30土・日・祝日除く)
- ◆ 業 種 化粧石けん、洗濯用石けん、台所用石けん、他
- ◆ 関連商品 洗濯用石けん
- ◆ 【ホームページ】 <http://www.shabon.com>

◆ 一 言 シャボン玉石けんは50年前から「無添加石けん」にこだわり、体洗い用だけでなく直接肌に触れる衣類の洗濯用石けんにも合成界面活性剤・香料・着色料・酸化防止剤など使用していません。企業理念「健康な体ときれいな水を守る。」のもと、アトピー性皮膚炎の患者様とご家族にも寄り添える製品づくりを続けてまいります。



富双合成株式会社

- ◆ 所在地 〒123-0874 東京都足立区堀之内1-13-10
- ◆ 電話番号 03-3899-5922(代)
- ◆ 業 種 インテリア製品の製造及び販売
- ◆ 関連商品 抗アレルギー壁紙・床材
- ◆ 【ホームページ】 <http://www.fusogosei.co.jp>

◆ 一 言 床材や壁紙の表面にアレルギーの働きを低減させる加工を施しております。床材や壁紙の表面に接触したアレルギーの働きを低減させ、安心して生活できる環境をご提供できるよう取り組んでおります。



(開業医)」というご意見もありました。

【 弊会にお寄せ頂いた『患者さんの声』 】

2017年、弊会でも「私たちは、ヒルドイドをはじめとするヘパリン類似物質製剤の処方制限に反対します!」と声明をHPでアップしました。全て無記名で頂いておりますので、少しご紹介させていただきます。

◆ 規制がかかって、一月に100gまでしか出せないといわれ、子供の、体でも半月もちません。何とかして欲しいです。

(30歳代・女性・島根県在住)

◆ ステロイドで良くなった後に肌をコントロールする事が本当に大変で、いろいろ試してみてもヒルドイドが一番効果があり手放せません。他の軟膏ではすぐに患部が再発します。ジェネリックの薬を勧められるようになりましたが、その薬で対処できているなら、それを使っています。

(40歳代・女性・東京都在住)

◆ 私はアトピーです。ヒルドイドが無ければ今の肌をコントロールするのが難しいです。痒みで寝れない夜を助けてもらっています。アトピー患者にしか分からない辛さや悲しさを少しでも軽減させてくれます。現在は薬の制限で必要な量がなく困っています。必要な人に届けられる世の中になってほしいと思います。

(20歳代・女性・大阪府在住)

◆ 美容なんて気にする次元ではありません。そういう人と美容目的の人を同じ扱いにしないで下さい。

(40歳代・女性・東京都在住)

◆ アトピーで乾燥がひどく全身にヒルドイドを使用している。塗るのを少しにしたり、市販のものを塗ってみてもアトピーが結局悪化してしまっ。ヒルドイドがあつてなんとか生活できている。ひどくないから使わなくていいのではなく、使っているからこそ調子を保てるのがアトピーだと思う。

(30歳代・女性・兵庫県在住)

「長期収載品の処方等又は調剤について」

そして、2024年10月より開始される長期収載品の保険給付のあり方の見直しについて、3月27日付で厚生労働省より通達されました。「今般、社会保障審議会医療保険部会及び中央社会保険医療協議会での議論、答申等を踏まえ、令和6年10月1日より、長期収載品の処方等又は調剤について選定療養の仕組みを導入することとしたところである」とされています。

改正の趣旨は、長期収載品(後発医薬品のある先発医薬品で、価格差のある後発医薬品があるもの)の処方等又は調剤について、選定療養の仕組みを導入することとされ、これに伴い、医療上の必要性があつて処方していること又は患者の希望を踏まえ処方していることが処方箋において明確になるよう、処方箋様式の改正を行うこととした。とのことでした。

具体的には、

・ 「変更不可」欄に「(医療上必要)」を追加し、処方を行う保険医(以下「処方医」という)が、処方箋に記載した医薬品(長期収載品)について、医療上の必要性があるため、後発医薬品に変更することに差し支えがあると判断した場合に、「変更不可(医療上必要)」欄に「✓」又は「×」を医薬品ごとに記載し、かつ、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印することとしたこと。

・ 「患者希望」欄を新設し、患者の希望を踏まえ、長期収載品を銘柄名処方する場合には、「患者希望」欄に「✓」又は「×」を医薬品ごとに記載することとしたこと。

銘柄名処方をされた長期収載品であつて、「変更不可(医療上必要)」欄に「✓」又は「×」が記載されたものは、保険給付の対象となること。また、「変更不可(医療上必要)」欄に「✓」又は「×」を記

載した場合においては、「患者希望」欄には「✓」又は「×」は記載しないこと。また、いずれにも「✓」又は「×」が記載されない場合には、保険薬局における調剤の段階で後発医薬品を調剤することができる一方で、患者が長期収載品を希望すれば選定療養の対象となること。

・ 後発医薬品の在庫状況等を踏まえ、当該保険薬局においては後発医薬品の提供が困難であり、長期収載品を調剤せざるを得ない場合には、保険給付とすること。

・ 一般名処方(※)の処方箋を保険薬局に持参した患者が長期収載品を希望した場合には、選定療養の対象となること。

※一般名処方:お薬の有効成分をそのままお薬名として処方すること。

例:「商品名:カロナール」→「一般名:アセトアミノフェン」

「商品名:ロキソニン」→「一般名:ロキソプロフェン」など。

「長期収載品の処方等又は調剤の取扱いに関する 疑義解釈資料の送付について(その1)」

上記、通達文より割愛して掲載しましたが、分かりました?

まとめながらも「?」が消えませんでした。全文は以下アドレスよりご覧いただけます。

「長期収載品の処方等又は調剤について」

15-4.pdf (mhlw.go.jp)

「長期収載品の処方等又は調剤の取扱いに関する
疑義解釈資料の送付について(その1)」

001275325.pdf (mhlw.go.jp)

そして、ようやく7月12日付「事務連絡」と表した書面が通達され、疑義解釈の想定集のようなものが公表されました。

【医療上の必要性について】

① 長期収載品と後発医薬品で薬事上承認された効能・効果に差異がある場合であつて、当該患者の疾病に対する治療において長期収載品を処方する医療上の必要があると医師等が判断する場合。

② 当該患者が後発医薬品を使用した際に、副作用や他の医薬品との飲み合わせによる相互作用、先発医薬品との間で治療効果に差異があつたと医師等が判断する場合であつて、安全性の観点等から長期収載品の処方等をする医療上の必要があると判断する場合。

③ 学会が作成しているガイドラインにおいて、長期収載品を使用している患者について後発医薬品へ切り替えないことが推奨されており、それを踏まえ、医師等が長期収載品を処方等する医療上の必要があると判断する場合。

④ 後発医薬品の剤形では飲みにくい、吸湿性により一包化ができないなど、剤形上の違いにより、長期収載品を処方等をする医療上の必要があると判断する場合。

ただし、単に剤形の好みによって長期収載品を選択することは含まれない。

とされました。

日本薬剤師会副会長の森昌平氏は、2024年7月1日の中央社会保険医療協議会(中医協)総会で、「薬局では、患者から詳しい説明を求められたり、納得してもらえずトラブルが発生したりする可能性も考えられる。計算方法をはじめ、非常に複雑な仕組みとなるため、患者説明用の資料を準備していただきたい」と厚労省に求めました。

厚労省は7月12日に発出した上記、「事務連絡」で選定療養費が発生する場合の、患者負担額となる部分の計算方法を示していますが、誠に複雑怪奇。図表なども使い具体例も示されていますが、奇々怪々?とまで感じてしまうのですが。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39830.html

後発医薬品のある先発医薬品(長期収載品)の選定療養について

(厚労省HPより)

対象は1095品目「ヒルドイド」はどうなる？

特許が切れた先発薬のうち、後発薬の発売から5年以上が経過したもののや、後発薬への置き換え率が50%以上になったものが対象で、医療上の必要性がないに関わらず、患者が「後発医薬品でなく先発品（長期収載品）を使いたい」と希望した場合には、両者の差額の4分の1を患者自身が負担する仕組み（選定療養）が導入されます。選定療養による「特別の料金」と、従来の「患者自己負担」の合計になるとされています。また、乳幼児医療の対象であっても、保険適応外の差額の部分は原則自己負担となります。

「先発医薬品選定療養自己負担増額チェッカー」

では仮に、選定療養費による「特別な料金」が発生した場合、肝心のヒルドイドはいくらになるのでしょうか？

小児科門前薬局の薬剤師さんが、自ら開発された上記チェッカーが公開されていました。今回対象となった薬剤1095品目に対応されていると思います。

ヒルドイドを検索すると、先発品の単価、後発品との差額が表示されます。

チェッカーで3割負担を選択すると、以下のように表示されました。

<https://www.cc-camp.com/contact/>
（先発医薬品選定療養自己負担増額チェッカー）



(S=先発品/G=後発品)

先発薬品名	S-G薬価差額の1/4	10月以降の保険対象となる金額
ヒルドイドソフト軟膏	3.23 円/g	15.27 円/g
ヒルドイドクリーム	3.23 円/g	15.27 円/g
ヒルドイドローション	3.35 円/g	15.15 円/g
ヒルドイドフォーム	1.95 円/g	16.75 円/g
ヒルドイドゲル	0.85 円/g	10.35 円/g

ヒルドイドソフト軟膏(クリーム)100g処方の場合

選定療養費	選定療養を除く保険対象費用	従来の保険適用による費用	増額分
352 円	459 円	555 円	256 円

同チェッカーを開発された小児科門前薬局の薬剤師さんに、計算式もご教示頂いたのですが、非常に難解なうえ、限られた紙面でもあって割愛しますが、3割負担の方の増額分は256円/100gになるようです。

(352円+459円-555円=256円)

ヒルドイド全成分

美容目的で問題となったヒルドイドですが、『究極の美容クリーム』とされる成分が配合されていたのでしょうか。今更ですが、全成分を調べてみました。添付文書には、血行促進・皮膚保湿剤と記されています。そして効果・効能を見ると、

【効果・効能】

血栓性静脈炎（痔核を含む）、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患（注射後の硬結並びに疼痛）、凍瘡、肥厚性癬痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷（打撲、捻挫、挫傷）後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸（乳児期）となっています。

【各剤型の全成分】

ヒルドイドクリーム0.3%
グリセリン、ステアリン酸、水酸化カリウム、白色ワセリン、ラノリンアルコール、セトステアリルアルコール、セトステアリルアルコール・セトステアリル硫酸

ナトリウム混合物、ミリスチルアルコール、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、イソプロパノール

ヒルドイドソフト軟膏0.3%

グリセリン、スクワラン、軽質流動パラフィン、パラフィン、マイクロクリスタリンワックス、白色ワセリン、サラシミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、ジブチルヒドロキシトルエン、エデト酸ナトリウム水和物、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル

ヒルドイドローション0.3%

グリセリン、セタノール、ミリスチルアルコール、白色ワセリン、スクワラン、セトマクロゴール1000、モノステアリン酸グリセリン、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸メチル、ジイソプロパノールアミン、カルボキシビニルポリマー

ヒルドイドフォーム0.3%

原液：グリセリン、マクロゴール、ポリソルベート 65、ポリオキシエチレンベヘニルエーテル、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、pH 調節剤
噴射剤：LPG

お手持ちの化粧水や乳液、特に美容クリームと称される商品の成分と見比べて下さい。スクワランという聞き覚えのある成分がソフト軟膏とローションに配合されていますが、『究極の美容クリーム』成分は見当たらないように思いますが如何でしょう。

プロトピック軟膏 0.1% まで !!

保湿剤が問題になっていたはずですが、今回1095品目が対象となったようです。喘息治療薬のシムビコート30・60吸入や、リンデロンやベトネベート、フルメタなどのステロイド外用薬も含まれています。「何か狙い撃ちされている」は言い過ぎでしょうか。また不勉強で、プロトピック軟膏（タクロリムス水和物）に後発品があることを知りませんでした。

以下、プロトピック軟膏0.1%の後発品です。

（先発品）プロトピック軟膏0.1% マルホ(株)

（先発品）プロトピック軟膏0.03%小児用 マルホ(株)

（後発品）タクロリムス軟膏0.1%「タカタ」高田製薬(株)

（後発品）タクロリムス軟膏0.1%「PP」サンファーマ(株)

（後発品）タクロリムス軟膏0.1%「イワキ」岩城製薬(株)

プロトピック軟膏を、再度、先程のチェッカーで調べてみました。

先発薬品名	S-G薬価差額の1/4	10月以降の保険対象となる金額
プロトピック軟膏 0.1%	6.95 円/g	59.05 円/g

プロトピック軟膏0.1% 5g(1本)処方の場合

選定療養費	選定療養を除く保険対象費用	従来の保険適用による費用	増額分
33 円	90 円	99 円	24 円

(33円+90円-99円=24円)

なお、先発品のプロトピック0.03%小児用には、後発品が無いため、今回の対象にはなっていないようです。

健全な治療環境を願って !!

ヘパリン類似物質製剤をはじめ、様々な医薬品の違法な入手が急増しているから先発医薬品の自己負担額を引き上げる。ということだと思っておりますが、違法行為の取り締まり強化策が打ち出されたのでしょうか。そして、薬局において後発医薬品の提供が困難な場合は、先発医薬品（長期収載品）を提供しても保険給付とします。となってますが、在庫が手当出来なかった時はいいよ。ってことでしょうか。後発品（ジェネリック）メーカーの不祥事に行政はどう向き合ったのでしょうか。大赤字財政の打開策になるとは思えないのですが。

加熱全卵粉末『たまごな』ってご存じですか？



8ページでご報告の第40回日本小児臨床アレルギー学会の敷設展示会に弊会ブースを出展させて頂いた折、お隣のブースで(株)たまごな様と一緒にさせて頂きました。

試験食の開発・製品化にご尽力された社会医療法人愛仁会 高槻病院小児科 榎本真宏先生ともご挨拶させて頂き、お話も伺いました。

尚、弊会にもご相談が多い、成人の食物アレルギーについても榎本先生のオンラインクリニック(のぞみアレルギーオンラインクリニック)にて、オンライン診療が可能とのこと。

『たまごな』は、「きちんと測った量の卵を簡単に定量摂取できる経口負荷試験に特化した“食品”」とされています。

負荷試験を行っておられる子供さんをお持ちのお父さん、お母さんは、既にご存じかもしれません。

『たまごな』は、アレルギー専門の医師や管理栄養士の知恵を集結してうまれました。

『たまごな』の利用は、病院での負荷試験でドクターの許可が必要となります。負荷試験は、①アレルギーかどうかの診断。②治ったかどうかを確かめるため。③食べられる量を確認するため。に行われます。命に関わりますので、絶対に自己判断で行ってはいけません。

『たまごな』には、卵タンパク含有量(mg)によって、25・250・750の3種類があります。全て15分茹でたゆで卵で、卵黄・卵白成分を含みますが、個々に全卵量と卵白量が異なります。

毎日続けることがとても大切な療法ですが、自宅でゆで卵を作ってアレルギーを起こさない確実な計量は、日常生活の負担も大きく、勿論、心配も尽きませんね。『たまごな』は、その名のとおり粉末になったものが必要な分量ごとに個装されています。『たまごな25』は、何にでも混ぜられ、250ではリンゴジュースやお粥に、750の場合は水に混ぜるなどして飲用できるそうです。また、卵の匂いも無いそうですから、無理なく忘れず続けられそうです。

ゆで卵持参でお出かけしなくても、また連泊の旅行にも個装された『たまごな』は便利ですね。

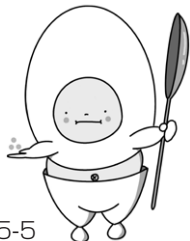
さらには、牛乳粉末『みるこな100』

牛乳3ml相当/包(乳タンパク100mg含)もあるそうです。

詳しくは、QRコード、インスタグラム

tamakon allergy をご覧ください。

(株)たまごな 兵庫県神戸市中央区港島南町6-5-5



『これ知ってる!食物アレルギー対応食品』 vol-6

イオントップバリュ株式会社
やさしごはん



皆さんこんにちは。

LFA食物アレルギーと共に生きる会 代表の大森 真友子です。

6月に新商品がたくさんでた「やさしごはん」シリーズをご存知ですか。特定原材料8品目不使用のイオントップバリュのアレルギー対応商品のブランド名です。中でも、今回お勧めしたいのは、冷凍商品の『パリッともっちりしたあらびきドッグ』と、『生地がもちもち豚まん』です。理由は、チンするだけで軽いお昼やおやつにぴったり!しかも誰が食べても美味しい。特に米粉でつくっているから、あらびきドッグは1つでも十分お腹いっぱいになります。このシリーズは専用工場で作られているので、敏感な方にもおすすめです。地域にもよりますが、イオンは比較的全国に店舗があるから、入手しやすい点もいいですね。いままでこのシリーズは常温の商品だけだったので、まさかまさかの冷凍コーナーで購入できる!他にも冷凍ハンバーグやミートボールもありました。是非冷凍コーナー探しに行ってみてください。

<https://www.topvalu.net/yasashi-gohan/>
これ、実家に教えてストックしてもらっておいたら、お子さんが遊びに行ったとき、みなさんが帰省した時にも、いいかも。変に気を遣わず、チンだけしてもらっただけやから、嬉しいやすいよね。是非周りの人にも教えてあげてくださいね。

患者会 LFA 食物アレルギーと共に生きる会

<http://www.lfa2014.com/>



the GUNZE
MADE IN JAPAN

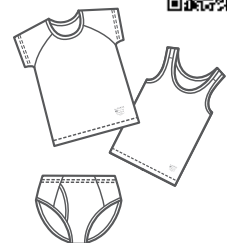
敏感肌のお子様の肌着選びに

-the GUNZE KIDS 敏感肌用-

刺激の少ない縫製と綿にこだわった、
お子様が安心して着られる天然素材の子供肌着です。

男の子 女の子 サイズ100~160

グンゼ株式会社
<https://www.gunze.co.jp/>



送達ご希望の方はご連絡ください。

書面・メールにて受付中

日本アトピー協会通信紙 あとぴいなう

通信紙「あとぴいなう」は積極的な治療への取り組みと自助努力を促すことを趣旨とし多くの患者さんに読んでいただきたく無料でお届けしております。ご希望の方はお届け先・お名前・電話番号やメールアドレスなどをお知らせください。患者さん・医療従事者の方に限定しておりますが一般の方もご希望でしたらご連絡ください。スクリーニングの結果、お届け出来ない場合もありその節はご容赦ください。なお協会ホームページからもお申し込みいただけます。

次号発行予定 11月12日

〒541-0045
大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階
電話 06-6204-0002 FAX.06-6204-0052
E-Mail jadpa@wing.ocn.ne.jp
Home Page <http://www.nihonatomy.join-us.jp/>

アトピー性皮膚炎 新たな外用薬とジェネリック保湿剤

小紙発行が9月12日。今回取り上げました選定療養費が10月からですから、お手元に小紙をお届け出来ているかと思います。ドクターの診断によるご判断が、選定療養費を左右するようです。また処方箋の「漏れ」など、当初は薬剤師さんも戸惑われる場面もあるかもしれません。何事も無く今まで通り、そして必要量が処方されることを願うばかりですが、新たな治療外用薬やジェネリック保湿剤についてもまとめてみました。

新たな治療外用薬

小紙8ページにも、10月29日から発売される新薬「ブイタマー[®]クリーム1%」をご紹介します。近年、登場した外用薬は軟膏でしたが、この新薬はクリームとのこと。症状次第では使いやすいお薬かもしれません。プロトピック[®]軟膏0.1%のジェネリック医薬品もご紹介しましたが、既に発売されている治療外用薬をご紹介します。

コレクチム[®]軟膏/デルゴシチニブ

(2020年6月:0.5%/2021年6月:0.25% 販売開始)

2023年1月:6ヵ月以上-2歳未満適応

ヤヌスキナーゼファミリー(JAK1、JAK2、JAK3及びTyk2)全てのキナーゼ活性を阻害し、種々のサイトカインシグナル伝達を阻害。サイトカインにより誘発される免疫細胞及び炎症細胞の活性化を抑制して皮膚の炎症を抑制。また、サイトカインにより誘発される搔破行動(そう痒)を抑制。

【適応年齢】 生後6ヵ月以上の小児～成人

【使用方法】

成人:0.5%製剤を1日2回、適量を患部に塗布。

1回に塗る量は5g(5gチューブ1本)まで。

小児:通常0.25%製剤を1日2回、適量を塗布。

症状に応じて0.5%製剤を1日2回塗布可能。

1回の塗布量は5gまでだが体格を考慮する。

症状が改善した場合は0.25%製剤に切り替える。

低出生体重児、新生児及び6ヵ月未満の乳児に対する安全性は確立していない。

1回に塗る量は体表面積の30%までが目安。

【使用上の注意】

皮膚感染症部位を避けて使用すること。粘膜や潰瘍、明らかに局面を形成しているびらん等への塗布は避ける。妊婦または妊娠している可能性がある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ使用。治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討する。

【薬価】コレクチム軟膏0.5%=143円/g・0.25%=137.6円/g

モイゼルト軟膏[®]/ジファミラスト

(2022年6月:0.3%・1% 販売開始)

2023年12月:3ヵ月以上-2歳未満適応

ホスホジエステラーゼ(PDE)4の活性を阻害する。PDE4は多くの免疫細胞に存在し、cAMPを特異的に分解する働きを持つ。炎症細胞の細胞内cAMP濃度を高め種々のサイトカイン及びケモカインの産生を制御することで皮膚の炎症を抑制する。

【適応年齢】 生後3ヵ月以上の小児～成人

【使用方法】

成人:通常1%製剤を1日2回、適量を患部に塗布する。

小児:通常0.3%製剤を1日2回、適量を患部に塗布する。

症状に応じて、1%製剤を1日2回塗布することが出来る。

塗布量は、皮疹面積0.1㎡当たり1gを目安とする。

【使用上の注意】

皮膚感染症部位を避けて使用すること。粘膜、潰瘍、明らかに局面を形成しているびらん等へ塗布は避ける。妊娠可能な女性には、本剤投与中及び投与終了後一定期間は適切な避妊を行うよう指導する。妊婦または妊娠している可能性がある女性には投与しないことが望ましい。治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討する。

【薬価】モイゼルト軟膏0.3%:140.4円/g 1%:150.4円/g

ステロイド外用薬

ご紹介したとおり一部のステロイド外用薬も選定療養費が必要な場合があります。弊会が随分前に調べた所によるとストロングゲスト・ベリーストロング・ストロング・ミディアム・ウィークまで。そして、軟膏やクリーム、ローションなど全ての剤型のジェネリック薬を含んで、約80種類くらいあると思います。ただし、クリニックや調剤薬局に全て在庫されている訳ではありません。以下、アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021年度最新版に掲載の代表的なステロイド外用薬です。

分類	商品名
ストロングゲスト(I群)	デルモベート・ダイアコート

ベリーストロング(II群)	フルメタ・アンテベート・トプシム・リンデロンDP・マイザー・ビスターム・テクスメテン・ネリゾナ・バンデル
ストロング(III群)	エクラー・メサデルム・ボアラ・ザルックス・ベトネベート・リンデロンV・フルコート
ミディアム(IV群)	リドメックス・レダコート・アルメタ・キンダベート・ロコイド・グリメサゾン・オイラゾン
ウィーク(V群)	プレドニゾロン

基本の治療は外用薬

外用薬以外にも注射薬や内服薬など、アトピー性皮膚炎治療新薬が次々に登場し、ここ数年で治療環境は随分変わってきました。注射薬や内服薬で症状が劇的に改善された方もおられるようですが、注射薬も内服薬も、継続中はアトピー性皮膚炎の病変部位の状態に応じて抗炎症外用薬を併用すること。また、保湿外用剤を継続使用すること。となっています。今回の選定療養費が皆さんには必要が無いことを願って、保湿剤の使用について、改めてまとめてみました。

保湿剤は何時塗る？

外用薬は基本1日2回、朝と夜に塗って下さい。とドクターや看護師さんからアドバイスがあると思いますが、保湿剤の塗布回数にはあまり制限はありません。

また、「お風呂上り10分以内に塗って下さい」というアドバイスもあると思いますが、10分以内と30分後に外用した場合で保湿剤の効果に有意な差は認められていないようです。ただ、清潔な皮膚に塗ることは推奨されますし、時間が経つと痒みが出やすい場合や皮膚がつっぱる方もおられ、やはり出来るだけ早く保湿剤で皮膚をカバーの方がよさそうです。

保湿剤の種類

保湿剤には、作用の違い①エモリエントと②モイスチャライザーがあります。①は、「白色ワセリン」「プロベト」「亜鉛華軟膏」など皮膚を覆うことで、表皮に油脂膜をつくり体内からの水分蒸発を防ぎ、角層を柔らかくする作用を持っています。

②は、年齢と共に減少する天然保湿因子(NMF)など水分を保持する作用をもつ成分を含み、尿素(パスタロン・ケラチナミン・ウレパール等)へパリン類似物質(ヘルドイド、ビーソフテン等)ビタミンA(ザーネ等)ビタミンE(ユベラ等)などがあります。

保湿剤の塗布量と塗布回数

塗布量については、小紙でも繰り返しFTU(フィンガーチップユニット)をご紹介しますが、塗布量や塗布回数に関する報告は限られているようです。塗布回数についても、ヘパリン類似物質製剤等の添付文書にも、用法は1日1回～数回と記載されています。塗布量については、多く塗った方が長く効果が続くとした報告はあるようです。塗布回数においては、1日1回と1日2回の塗布を比べると、塗布量よりも塗布回数が保湿効果に影響するそうです。

ジェネリック処方保湿剤

最後に後発品(ジェネリック)の保湿剤をご紹介します。ステロイド外用薬と同様、全ての保湿剤がクリニックや調剤薬局で取り扱われている訳ではありません。

・ゼスタッククリーム/三笠製薬(株)

以下名称＝ヘパリン類似物質

- ・クリーム・ローション・外用スプレー0.3%「YD」/(株)陽進堂
- ・クリーム・ローション0.3%「ラクール」/東光薬品工業(株)
- ・クリーム・ローション0.3%「日医工」/帝國製薬(株)
- ・クリーム0.3%「アメル」/共和薬品工業(株)
- ・ゲル0.3%「日医工」/帝國製薬(株)
- ・ゲル0.3%「アメル」/共和薬品工業(株)
- ・ローション0.3%「NIT」日東メディック(株)
- ・ローション・外用スプレー0.3%「YD」/(株)陽進堂
- ・ローション0.3%「ニッター」/東亜薬品(株)
- ・外用スプレー0.3%「PP」コーアイセイ(株)
- ・外用スプレー0.3%「テイコク」/帝國製薬(株)
- ・外用スプレー0.3%「サトウ」/佐藤製薬(株)
- ・外用スプレー0.3%「PP」/コーアイセイ(株)
- ・外用スプレー0.3%「日医工」/日医工(株) など。

独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)より

第40回日本小児臨床アレルギー学会学術大会 敷設展示会出展ご報告



7月13日・14日、梅田スカイビル(大阪府)にて開催された同学会敷設展示会(会長 大阪府済生会中津病院小児科、免疫・アレルギーセンター部長、清益 功浩先生)に弊会ブースを出展させて頂きました。

同学会には、滋賀県大津市で開催された第34回大会以来、コロナ感染対策の期間もあり7年ぶりの弊会ブース出展となりました。

同学会は、いつも来場者が多く、小児科医師は勿論、特にPAE(pediatric allergy educator/アレルギーエデュケーター)を取得されている看護師・薬剤師・管理栄養士の皆様の来場がとて多く、弊会ブースにも大勢の方々にお立ち寄り頂きました。

小児臨床アレルギー学会のため、弊社法人賛助会員様で、小児に関連する商品をお持ちの企業様にご協賛をお願いし、お立ち寄り頂いた皆様に展示品をご紹介させて頂き、ご協賛頂きました商品は全て、お持ち帰り頂きました。

真夏の開催でしたので、ご協賛頂いたハンドタオルは、会場内で早速ご使用になられた方もおられ、ベビー用の浴用石鹸や泡タイプのボディソープに、日焼け止めクリーム。赤ちゃん用ミトンに産着、子供用肌着は、男の子用・女の子用の着用をご協賛頂きました。特に女の子用のカップ付きブラトップはとて人気でした。価格帯や購入方法などのご質問を多く頂きました。

これからも、関連学会の敷設展示会への弊会ブース出展は継続して参りたいと願っております。変わらぬご協力、ご協賛をお願い申し上げます。最後になりましたが、快くご協賛頂きました法人賛助企業各社様には紙面からではございますが、厚く御礼申し上げます。拝

【ご協賛企業様】

グンゼ株式会社・株式会社ケイエスシー・資生堂ジャパン株式会社・大衛株式会社・瀧芳株式会社・株式会社ディープレス・株式会社ハートウエル・株式会社ピーアンドピーエフ・村信株式会社・株式会社ワコール



さらなる新薬『ブイタマー®クリーム1%』承認!! (一般名:タピナロフ)

2024年6月24日に「日本国内におけるアトピー性皮膚炎及び尋常性乾癬を適応症として製造販売承認を取得」が発表され、同年10月29日より、鳥居薬品(株)より販売が開始されます。

「有効成分であるタピナロフは、細胞質に存在する特定の受容体(芳香族炭化水素受容体:AhR)を活性化して炎症反応を促進する生体内物質の産生を抑制するほか、皮膚バリア機能関連分子および抗酸化分子の遺伝子発現を誘導して皮膚症状を改善する」とされています。

アトピー性皮膚炎に使用する場合、通常、成人および12歳以上の小児には、1日1回適量を患部に塗布します。

尋常性乾癬に使用する場合、通常、成人には1日1回適量を患部に塗布します。

1日1回の塗布となっていますから、朝の忙しい時の塗布は不要ということになるのでしょうか。

添付文書には、「治療開始8週間以内に症状の改善が認められない場合は、使用を中止すること」とされています。

また、効果の現れ方は、国内臨床試験の結果によると、塗布開始後8週間、症状が消失しない、ほぼ消失、主要評価項目が2段階以上改善した患者さんの割合が20.24%(ラプセボ群2.24%)また、長期投与試験では、75%改善した患者さんの割合は徐々に増加し、52週時点では76.6%となり、優れた効果が穏やかに上昇するようです。

使用時の注意点は、皮膚感染部位は避けて使用する。妊婦又は妊娠している可能性がある女性は、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ使用すること。授乳婦においては、治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。とされています。

副作用については、比較的多い報告は、使用部位の毛包炎や、ざ瘡(ニキビ)、接触皮膚炎などがあります。また、報告数は少ないですが、塗布部位の痛みや刺激感、腫れ、かゆみ、肌の色の変色などの報告もあるようです。添付文書には、ブイタマーとの併用が禁忌とされている薬剤はありませんが、新しい薬剤のため他剤との併用を検討した例が少ないため、ステロイド外用薬、免疫抑制外用薬、内服薬、注射薬などと併用する場合は、状態を踏まえて部位によって使い分けするなど慎重な取り扱いが必要となりますから、絶対に自己判断せず、かかりつけ医の指示に従って下さい。

今回承認されていない2歳未満の小児アトピー性皮膚炎患者さんを対象とした国内第Ⅲ相臨床試験も現在実施中とのことで、さらなる期待が膨らみます。

【薬価】ブイタマー®クリーム1% 1g=300.8円
15gチューブ(1本)=4,512円(3割負担=約1,354円)

読んでみました!! この書籍!!



みなさんのご参考になれば幸いです。読めば参考になったり、反対に落ち込んだりする事もあるかもしれませんが、頑張って前向きに捉えて行きましょう。

【タイトル】「皮膚外用剤のトリセツ」

【編集】大谷道輝先生 【発行所】(株)南山堂 【定価】1200円(税別)

皮膚科ドクター・薬剤師の皆様が読まれる書籍で勉強です。外用剤なら、まずは大谷道輝先生(薬学博士)の書籍。薬剤師である大谷先生は、東京大学医学部附属病院薬剤部、東京通信病院薬剤部をご歴任。本書では、皮膚外用剤を「知りたい人・選ぶ人・説明する人・混合/希釈する人」と章立てされ、外用剤の注意点が網羅されています。全編、データや表組みもあり素人の私でも興味深く勉強出来ました。

剤型による患者さんの満足度や衣類への付着量の違い。「塗布と塗擦の違い」などは初めて知りました。添加物が増えると副作用が増える。軟膏ツボは遮光性が乏しい。混合・希釈時に注意が必要な先発と後発医薬品の組成の違いや基剤のpHの違いなど知らないことばかり。

「ワセリンは日焼けする?しない?」「子どもが軟膏を食べてしまった!」の答えは知っていましたが、皆さんご存じでしたか?



【タイトル】「痒みのサイエンス」

【編集企画】石氏陽三先生 【発行所】(株)日本病院出版会 【定価】2600円(税別)

Derma/デルマとはドイツ語由来で「皮膚」という意味の接頭語で、皮膚科は英語で「dermatology/ダーマトロジー」

アトピー性皮膚炎の大きな悪化要因は痒みです。痒みを知れば外用薬に繋がることは分かりますが、この書籍も皮膚科専門医先生向けですから、当然、素人の私には難解でした。

「痒みの外用薬」の項目では、ステロイドをはじめ新薬のコレクチム軟膏やモイゼルト軟膏の他にも、オイラックスクリームやレスタミン軟膏、唐辛子成分のカプサイシンやメントールについても外用効果が記されていました。さらに別ページには、経口薬や注射薬の新薬も解説されていました。

また「薬物療法以外の痒み治療」は、興味深いページでした。ストレスと痒みについて、自律訓練法、漸進的筋弛緩法、森田療法、マインドフルネス、ヒーリングタッチ、アロマテラピーなど、あらゆる心理療法にとて驚きました。



図書の貸し出しいたします。詳しくはお問い合わせください。

TEL 06-6204-0002 FAX 06-6204-0052